

Empirical Analyses of Energy Poverty at the Household Level

伊川, 萌黄

<https://hdl.handle.net/2324/5068205>

出版情報 : Kyushu University, 2022, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	伊川 萌黄		
論文名	Empirical Analyses of Energy Poverty at the Household Level (エネルギー貧困の世帯レベル実証分析)		
論文調査委員	主査	九州大学	教授 馬奈木 俊介
	副査	九州大学	教授 塚原 健一
	副査	九州大学	准教授 大枝 良直

論文審査の結果の要旨

本研究は、グローバルな多国間データと日本のデータを用いて、世帯のエネルギー貧困が国の経済的要因によってどのように変化し、また気温上昇がエネルギー貧困を通じて主観的幸福度にどのような影響をもたらすかを示したものである。本論文は、気候変動対策としてエネルギー消費量削減を目指しながら、人々の厚生をどのように確保していくかを考えるために、既存研究では取り組まれてこなかった多国間を対象とした分析を行い、さらに因果推論アプローチを適用することによって、新たな視座を提供している。本論文は、従来注目されていなかった中所得国でエネルギー貧困が深刻であることや、気温上昇による追加的エネルギーコストが主観的幸福度を下げること示した点で、今後グローバルおよび日本でエネルギー貧困削減に取り組むための有用な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。よって本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。